

6月14日 経団連ホールで、世界省エネルギー等ビジネス推進協議会の第4回総会が開催された。総会へは米倉会長をはじめ、会員各社・団体およびオブザーバーから97名が出席した。また来賓として資源エネルギー庁 細野長官、外務省 国際協力局 佐渡島局長にご出席いただいた。



米倉会長 挨拶

地球環境問題に加え、世界中でエネルギー問題への関心が高まっている。日本が有する先進的な省エネルギー技術、再生可能エネルギー技術は、これらの問題解決のため極めて重要な役割を担っており、諸外国からも日本の技術や経験に対して高い期待が寄せられている。国内では震災からの復興という大きな課題に直面しているが、地球環境、エネルギー問題への取り組みの手を緩めることなく、省エネルギー、新エネルギービジネス海外展開という我々の活動を着実に推進していかなければならない。そうした取組が日本経済の再生、我が国復興を後押しすることにつながる。



経済産業省 資源エネルギー庁 細野長官



外務省 国際協力局 佐渡島局長

今回の震災被害に対する諸外国からの支援を見て、世界の中の日本の位置を再確認した。協議会とは、これまで、よく協力しながら日本の技術の海外普及に取り組んできた。今後とも、全力を挙げて取り組んでいきたい。49カ国・56公館に配置したインフラプロジェクト専門官やJICAなども普及活動の中で大いに活用していただきたい。